あの日、キノコ雲の下で焼けた

戦後60年の原点

シリーズ総括

【ヒロシマ・ナガサキの60年】

1945年 8月 6日　米国が広島に原爆投下❶

9日　米国が長崎に原爆投下❷

54年 3月 1日　米国のビキニ環礁水爆実験で、第5福竜丸の乗組員が被ばく

55年 8月 6日　第1回原水爆禁止世界大会、広島市で開催

8月24日　広島原爆資料館開館

9月19日　原水爆禁止日本協議会（原水協）が発足

56年 8月10日　日本原水爆被害者団体協議会、長崎で結成

57年 4月 1日　被爆者の健康診断、治療を目的に原爆医療法施行。4月医療給付実施。6月、原爆手帳交付開始

67年12月11日　佐藤栄作首相が「持たず、作らず、持ち込ませず」の非核三原則を公式表明

68年 7月 1日　核拡散防止条約（NPT）調印

9月 1日　健康管理手当などの支給を目的に原爆特別措置法施行

78年 7月 1日　初の国連軍縮特別総会で、軍縮宣言など採択❸

79年 3月28日　スリーマイル島原発放射能漏れ事故❹

86年 4月26日　チェルノブイリ原発事故発生❺

87年12月 8日　米ソが中距離核戦力（INF）全廃条約に調印

89年12月 3日　米ソ首脳会談で冷戦終結を宣言

91年 7月31日　米ソが戦略兵器削減条約（START）に調印

95年 5月11日　NPT再検討会議で、条約の無期限延長を決定

6月28日　米スミソニアン博物館で「エノラ・ゲイ展」開幕。広島の被害を含む展示計画が退役軍人の抗議で大幅変更❻

7月 1日　原爆2法を一本化、拡充した被爆者援護法施行

96年 9月24日　核実験全面禁止条約（CTBT）調印（米中などが未批准で条約は発効せず）

12月 7日　原爆ドーム、世界遺産に登録

97年 7月 2日　米国が臨界前核実験を実施

03年 4月17日　札幌、長崎、名古屋各地裁で初の原爆症認定集団訴訟提訴

8月 1日　「原爆の子の像」周囲の折り鶴14万羽が放火により焼失

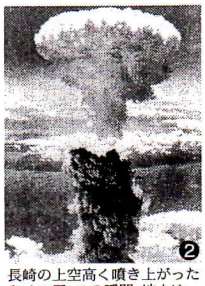
11月23日　NGO「平和市長会議」が2020年までに核廃絶を目指す緊急行動を決定

05年 3月 6日　原爆詩「生ましめんかな」の詩人、栗原貞子さん死去

5月27日　NPT再検討会議が完全決裂で終了

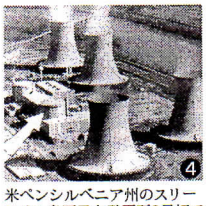
06年 5月12日　原爆症認定訴訟で大阪地裁、9人全員認定。国は控訴

広島の原爆で被爆し治療を受ける少年



長崎の上空高く噴き上がったキノコ雲。この瞬間、地上は「地獄」だった

ニューヨーク市で行われたデモに被爆者を含む日本の国民代表80人など4000人が参加。「ノーモア・ヒロシマ」を訴えた＝共同



米ペンシルベニア州のスリーマイル島原子力発電所2号炉で放射能が大気中に放出され、住民100万人が避難した。矢印が事故のあった2号炉＝AP

チェルノブイリ原子力発電所4号機が大爆発し多量の放射能で汚染された＝タス

完全復元された「エノラ・ゲイ」＝AP